

総務建設常任委員会協議会 説明資料

令和6年1月31日

大磯町地域公共交通計画（案）について

資 料

- 1 大磯町地域公共交通計画（素案）に対する
意見募集（パブリックコメント）の実施結果について 1～2
- 2 大磯町地域公共交通計画（素案）に対する
大磯町地域公共交通会議委員からの意見について 3～4
- 3 大磯町地域公共交通計画（案）新旧対照表 5～8
- 4 現在取組みを検討している事項 9

（参考資料） 大磯町地域公共交通計画（案）

都 市 計 画 課

大磯町地域公共交通計画（素案）に対する 意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

「大磯町地域公共交通計画（素案）」に対する意見募集（パブリックコメント）を実施いたしましたので、いただいた意見に対する町の考え方を公表いたします。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

意見募集等の概要

1 募集期間

令和5年11月28日（火曜日）から令和5年12月25日（月曜日）

2 周知方法

広報おおいそ12月号及びホームページへの掲載

3 閲覧場所

町民情報コーナー（役場本庁舎及び国府支所）、都市計画課窓口、町ホームページ

4 意見の提出方法

郵送、ファクシミリ、電子メール、直接持参

意見募集等の結果

1 意見提出者 2人

2 意見件数 4件

3 意見の反映状況

区 分	記 号	件 数
計画に反映するもの	A	1
計画に既に位置づけられているもの	B	
今後の取組等の参考とするもの	C	3
計画に明文化できなかつたもの	D	
その他	E	

提出された意見の内容と町の考え方

No.	意見	町の考え方	反映
1	<p>国においても尚議論が行われているライドシェアの記述については、他の文言に置き換えが必要と考える。</p>	<p>ライドシェアの記述について、具体的に神奈川版ライドシェアの動向に注視した検討を行うため、「神奈川版ライドシェア」に修正します。</p>	A
2	<p>幹線交通は、東海道線であるが、大磯町内では大磯駅のみで町内での移動手段としては使えないため、平塚駅・二宮駅間での町内移動の幹線バス路線を作るべき。</p>	<p>平塚駅、二宮駅間の幹線バス路線について、町内外の移動を担う骨格となる「幹線公共交通」としての役割を十分認識し、体系的な地域公共交通ネットワークの構築を検討し、維持・確保していくための参考意見とさせていただきます。</p>	C
3	<p>大磯駅は駅前が狭いため、役場や大磯港など駐車場がある場所を含めると、そこを基点とした補助バス路線を構築しやすいと思う。</p>	<p>補助路線バスの構築については、利用実態や地域住民の利便性などに配慮しながら、改善に向けた検討を進めていくうえでの参考意見とさせていただきます。</p>	C
4	<p>大きな駐車場所が備わっている場所であれば自動運転バスを活用することも視野に入れられる。 スローモビリティについては、範囲を限定したほうが導入しやすいと思いますので地域内限定の仕組みとして、基幹バス路線との接続点を作ることがよいと思う。</p>	<p>自動運転バスやグリーンスローモビリティなど新たな地域モビリティの事例研究等を行いながら、導入に向けた検討するうえでの参考意見とさせていただきます。</p>	C

大磯町地域公共交通計画（素案）に対する 大磯町地域公共交通会議委員からの意見について

「大磯町地域公共交通計画（素案）」に対し、大磯町地域公共交通会議委員より意見があったため、いただいた意見に対する町の考え方を公表いたします。

意見の概要

- 1 意見徴収期間 令和5年11月28日（火）から令和5年12月18日（月）
- 2 意見提出委員 2人
- 3 意見件数 8件
- 4 意見の反映状況

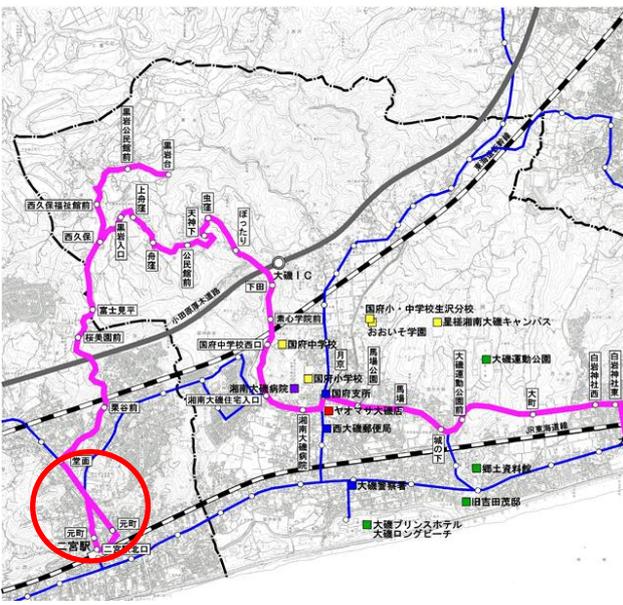
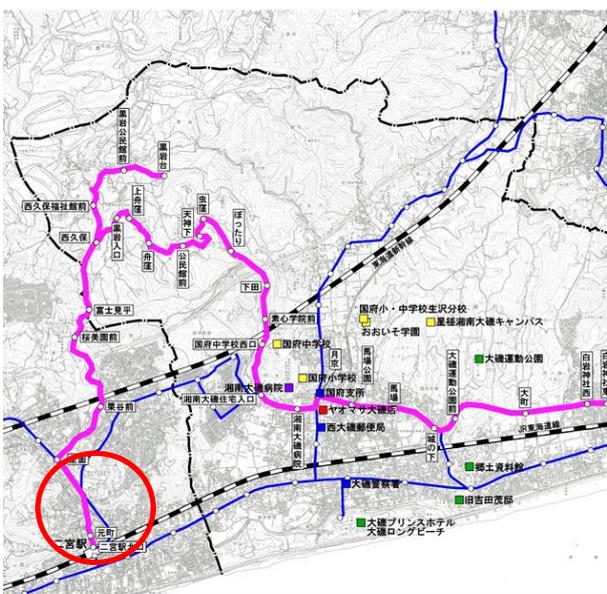
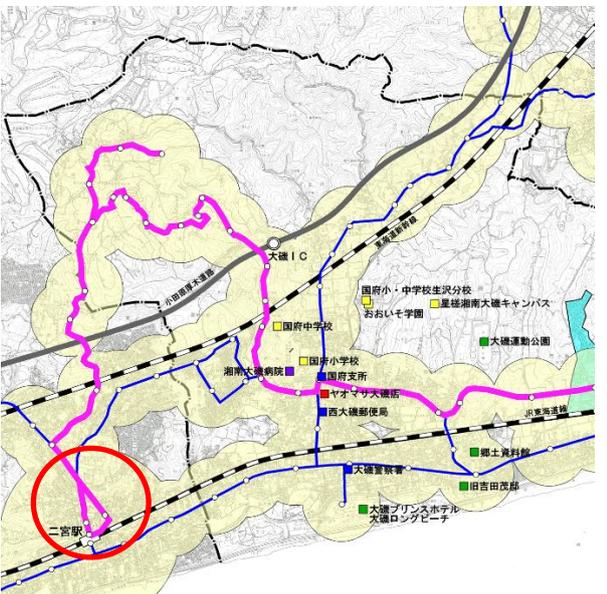
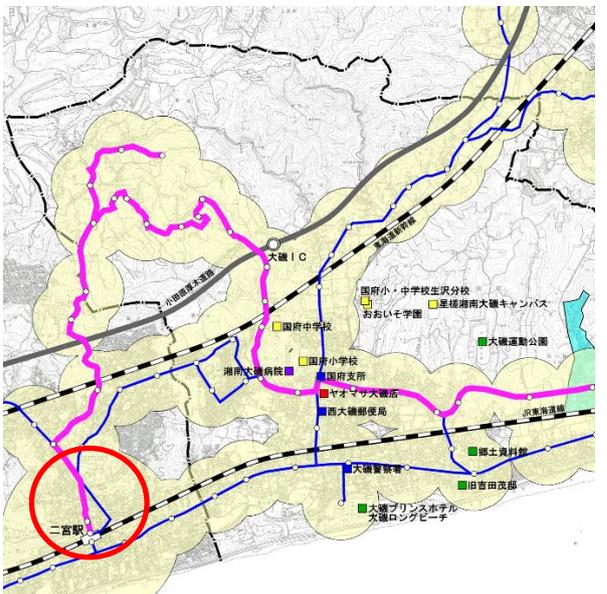
区 分	記 号	件 数
計画に反映するもの	A	8
計画に既に位置づけられているもの	B	
今後の取組等の参考とするもの	C	
計画に明文化できなかったもの	D	
その他	E	

提出された意見の内容と町の考え方

No.	意見	町の考え方	反映
1	補助路線バスの二宮駅発運行ルートは、線路沿いから左折し堂面方向へ運行している。	P. 9 及び P. 16 の補助路線バスの運行ルート図を修正します。	A
2	P. 28④において、シェアサイクルなどが運行しているとの記載があるが、シェアサイクルは運行すると言わないので、「大磯駅は、鉄道やバス、タクシーが乗り入れているほか、シェアサイクルなどのサービスがあり、」などに修正した方がよい。	ご意見のとおり修正します。	A
3	P. 29「大磯町の地域公共交通は・・・指摘されている。」の文章に、利用者の減少という内容が2回出ていることから、「公共交通を取り巻く環境は厳しさを増すとともに、交通事業者からも乗務員の確保が困難といった理由で現行路線の維持が困難である旨の指摘がされている。」などに修正した方がよい。	ご意見のとおり修正します。	A

4	<p>P. 34「地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用した補助路線バスの位置づけ」について、表の3行目「必要性」の2行目「・・・引き続き・・・」となっているが、現時点で幹線補助を受けていないため修正した方がよい。</p>	<p>ご意見のとおり「引き続き」を削除し、修正します。</p>	A
5	<p>P. 36の「なお、補助路線バスは・・・」と記載しているが、デマンド型も検討することを上記でも触れていることから、「定時定路線型を継続した際には」などを追記した方がよい。</p>	<p>文章を簡素に分かり易くするため、「定時定路線型」を使わず「補助路線バス」へ修正します。</p>	A
6	<p>P. 42の3行目「・・・神奈川版ライドシェアについて、道路運送法における自家用車有償旅客運送や国家戦略特区、国庫補助金等・・・」について、「・・・神奈川版ライドシェアの動向に注視し、国庫補助金等・・・」などに修正した方がよい。</p>	<p>ご意見のとおり修正します。</p>	A
7	<p>P. 42「神奈川県ライドシェア構想（案）」について、県は一般的なライドシェアを導入したいわけではないので、「神奈川版ライドシェア」構想などに修正した方がよい。</p>	<p>ご意見のとおり「神奈川版ライドシェア」に修正します。</p>	A
8	<p>P. 43「①自家用車有償旅客運送（ライドシェア）・・・」について、自家用車有償旅客運送（ライドシェア）との記述が散見されるが、自家用有償旅客運送とライドシェアは異なる概念と理解しているため（ライドシェア）は削除した方がよい。</p>	<p>具体的に神奈川版ライドシェアの動向に注視した検討を行うため、「神奈川版ライドシェア」に修正します。</p>	A

大磯町地域公共交通計画(案) 新旧対照表

新	旧
<p>(9 ページ)</p> <p>1-2 既存公共交通の現況把握</p> <p>(4) 補助路線バス</p> <p>① 運行概要</p> <p>■ 補助路線バスの運行ルート</p> 	<p>(9 ページ)</p> <p>1-2 既存公共交通の現況把握</p> <p>(4) 補助路線バス</p> <p>① 運行概要</p> <p>■ 補助路線バスの運行ルート</p> 
<p>(16 ページ)</p> <p>1-2 既存公共交通の現況把握</p> <p>(8) 公共交通空白地域</p> <p>■ 公共交通空白地域図</p> 	<p>(16 ページ)</p> <p>1-2 既存公共交通の現況把握</p> <p>(8) 公共交通空白地域</p> <p>■ 公共交通空白地域図</p> 

新	旧
<p>(28ページ)</p> <p>3 地域公共交通を取り巻く課題整理</p> <p>④ 町の骨格を形成する鉄道や路線バスの維持・確保と利用促進</p> <p>(略)</p> <p>また、大磯駅は、鉄道や路線バス、タクシーが乗り入れているほか、シェアサイクルなどのサービスがあり、町内外への移動に際し、安心かつ抵抗なくスムーズな乗換えができるよう、公共交通機関同士の連携強化や周知等を行うことで利用促進を図る必要がある。</p>	<p>(28ページ)</p> <p>3 地域公共交通を取り巻く課題整理</p> <p>④ 町の骨格を形成する鉄道や路線バスの維持・確保と利用促進</p> <p>(略)</p> <p>また、大磯駅は、鉄道や路線バス、タクシーの他、シェアサイクルなどが運行しているため、町内外への移動に際し、安心かつ抵抗なくスムーズな乗換えができるよう、公共交通機関同士の連携強化や周知等を行うことで利用促進を図る必要がある。</p>
<p>(29ページ)</p> <p>3 地域公共交通を取り巻く課題整理</p> <p>⑥ 公共交通の利用促進に向けた町民への意識啓発と運行参画への支援</p> <p>大磯町の地域公共交通は、人口減少や少子高齢化に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響やリモートワークなど生活様式の変化に伴う外出機会の減少などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増すとともに、交通事業者からも乗務員の確保が困難といった理由で路線の維持が困難である旨の指摘がされている。</p> <p>(略)</p>	<p>(29ページ)</p> <p>3 地域公共交通を取り巻く課題整理</p> <p>⑥ 公共交通の利用促進に向けた町民への意識啓発と運行参画への支援</p> <p>大磯町の地域公共交通は、人口減少や少子高齢化に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響やリモートワークなど生活様式の変化に伴う外出機会の減少などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増す中で、交通事業者においても、利用者の減少や乗務員の確保が困難といった理由で現行路線の維持が困難である旨の指摘がされている。</p> <p>(略)</p>
<p>(31ページ)</p> <p>4 地域公共交通に係る基本方針と目標</p> <p>(1) 基本理念と基本方針</p> <p>基本方針3：公共交通による誰もが利用しやすい環境の整備</p> <p>(略)</p> <p>○利用者が町内を気軽に移動できるよう、既存の公共交通機関を補完する神奈川版ライドシェアなど新たな移動手段の充実を図る。</p> <p>(略)</p>	<p>(31ページ)</p> <p>4 地域公共交通に係る基本方針と目標</p> <p>(1) 基本理念と基本方針</p> <p>基本方針3：公共交通による誰もが利用しやすい環境の整備</p> <p>(略)</p> <p>○利用者が町内を気軽に移動できるよう、既存の公共交通機関を補完する自家用車有償運送(ライドシェア)などの移動手段の充実を図る。</p> <p>(略)</p>

(32ページ)

4 地域公共交通に係る基本方針と目標

(2) 計画の目標

目標④：地域全体で支える公共交通の構築

公共交通を補完するために、**神奈川版ライドシェア**など新たな公共交通との組合せにより、日常生活における移動手段を確保するとともに、地域全体で支える公共交通網を構築する。

(33ページ)

4 地域公共交通に係る基本方針と目標

(3) 地域公共交通ネットワークのあり方の方向性

■ 輸送密度と利用者特性による地域公共交通の分類

グラフ中の「**神奈川版ライドシェア**」

(34ページ)

4 地域公共交通に係る基本方針と目標

(3) 地域公共交通ネットワークのあり方の方向性

■ 地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用した補助路線バスの位置付け

(表中) 必要性

補助路線バスの維持・確保のため、町の財政負担だけでは運行の維持が難しく、**地域公共交通確保維持事業（幹線補助）の活用**により、地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取組みを継続していくことが必要である。

(36ページ)

5 目標達成のための実施事業

(2) 実施事業の概要

目標① 町内の移動手段の充実

【事業1】 補助路線バスの課題検討

■ 現行の補助路線バス事業及び実施主体の概要

(略)

補助路線バスについては、バスの利用実態や、働き方改革関連法の施行を踏まえた運転手の労働時間等を考慮し、地域住民の利便性に配慮しながら、運行ダイヤの見直しを行うとともに、富士見地区における今後の公共交通の在り方について、地域住民の需要や意向等の把握を行いながら、現行の

(32ページ)

4 地域公共交通に係る基本方針と目標

(2) 計画の目標

目標④：地域全体で支える公共交通の構築

公共交通を補完するために、**自家用車有償運送(ライドシェア)**など新たな公共交通との組合せにより、日常生活における移動手段を確保するとともに、地域全体で支える公共交通網を構築する。

(33ページ)

4 地域公共交通に係る基本方針と目標

(3) 地域公共交通ネットワークのあり方の方向性

■ 輸送密度と利用者特性による地域公共交通の分類

グラフ中の「**自家用車有償運送(ライドシェア)**」

(34ページ)

4 地域公共交通に係る基本方針と目標

(3) 地域公共交通ネットワークのあり方の方向性

■ 地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用した補助路線バスの位置付け

(表中) 必要性

補助路線バスの維持・確保のため、町の財政負担だけでは運行の維持が難しく、**引き続き地域公共交通確保維持事業（幹線補助）の活用**により、地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取組みを継続していくことが必要である。

(36ページ)

5 目標達成のための実施事業

(2) 実施事業の概要

目標① 町内の移動手段の充実

【事業1】 補助路線バスの課題検討

■ 現行の補助路線バス事業及び実施主体の概要

(略)

補助路線バスについては、バスの利用実態や、働き方改革関連法の施行を踏まえた運転手の労働時間等を考慮し、地域住民の利便性に配慮しながら、運行ダイヤの見直しを行うとともに、富士見地区における今後の公共交通の在り方について、地域住民の需要や意向等の把握を行いながら、現行の

補助路線バスによる運行を継続するか、新たに「デマンド型」による運行に切替えるか、タクシー券の配布などのソフト対策を行うかなど、改善に向けた検討を進める。

(42ページ)

5 目標達成のための実施事業

(2) 実施事業の概要

目標 ④ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業8】新たな公共交通（地域モビリティ）の導入に向けた検討

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、社会経済活動の活性化やインバウンドの回復などに伴い、タクシー需要が増加する一方で、タクシー運転手の高齢化や不足が進んでいる中で、神奈川県で検討中の「**神奈川版ライドシェア**」の動向に注視し、国庫補助金等の活用を見据えながら、導入に向けた検討をする。

(略)

(42ページ)

5 目標達成のための実施事業

(2) 実施事業の概要

目標 ④ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業8】新たな公共交通（地域モビリティ）の導入に向けた検討

【参考】**「神奈川版ライドシェア」構想**

(43ページ)

5 目標達成のための実施事業

■ 実施事業のまとめ

④ 地域全体で支える公共交通の構築

(表中)【事業8】事業概要

- ① **神奈川版ライドシェア**などの新たな地域モビリティの導入に向けた調査・検討
- ② 観光振興と連携した新たな移動手段の調査・検討

「定時定路線型」による運行を継続するか、新たに「デマンド型」による運行に切替えるか、タクシー券の配布などのソフト対策を行うかなど、改善に向けた検討を進める。

(42ページ)

5 目標達成のための実施事業

(2) 実施事業の概要

目標 ④ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業8】新たな公共交通（地域モビリティ）の導入に向けた検討

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、社会経済活動の活性化やインバウンドの回復などに伴い、タクシー需要が増加する一方で、タクシー運転手の高齢化や不足が進んでいる中で、神奈川県で検討中の「**神奈川版ライドシェア**」について、**道路交通法における自家用車有償旅客運送や国家戦略特区制度**、国庫補助金等の活用を見据えながら、導入に向けた検討をする。

(略)

(42ページ)

5 目標達成のための実施事業

(2) 実施事業の概要

目標 ④ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業8】新たな公共交通（地域モビリティ）の導入に向けた検討

【参考】**神奈川県ライドシェア構想(案)**

(43ページ)

5 目標達成のための実施事業

■ 実施事業のまとめ

④ 地域全体で支える公共交通の構築

(表中)【事業8】事業概要

- ① **自家用車有償旅客運送(ライドシェア等)**などの新たな地域モビリティの導入に向けた調査・検討
- ② 観光振興と連携した新たな移動手段の調査・検討

現在取組みを検討している事項

ハード対策（既存交通）

【事業1】 補助路線バスの課題検討

・補助路線バスの継続と今後の検討

- ① 現行バスの継続と補完（タクシー券助成など）
- ② 富士見地区の今後の交通手段（補助路線バス・乗合交通・タクシー券助成など）の検討
- ③ 国庫補助金の活用

【事業2】 大磯町乗合タクシーの課題検討

・乗合タクシーの見直しとエリア拡大

- ① 現行エリアの継続と利便性（乗降場所の追加・土日運行など）の見直し
- ② 空白地域の解消に至っていない地域（東小磯、大磯、東町、高麗）へのエリア拡大の検討
- ③ 国庫補助金の活用

【事業1】

- ① 法改正による運行ダイヤの見直し及び補完制度の検討
- ② 利便性の改善に向けた検討
- ③ 国庫補助金の確保

【事業2】

- ① 乗降場所の再検証及び割引制度の導入検討
土日運行の検討
- ② エリア拡大の協議、検討
- ③ 国庫補助金の活用の継続

ソフト対策（周知PR等）

【事業3】 路線バスの維持及び利用促進

- ① 交通事業者が実施する運賃制度や MaaS アプリの周知・連携

【事業4】 公共交通マップの作成・配布

- ② 公共交通のルートやダイヤ、運賃などの情報を載せたマップの作成・配布

【事業5】 公共交通を利用した推奨移動ルートモデルの作成・周知PR

- ③ 移動目的地別のモデルルート（乗り継ぎ方法等）の作成・情報発信

【事業6】 利用しやすい車両の導入

- ④ 交通事業者へのノンステップバスやユニバーサルデザインタクシー導入継続の依頼

【事業3】

- ① 広報、ホームページ等を通じ、運行サービスを広く周知

【事業4】

- ② 経路やダイヤ、運賃などの情報を載せたマップの作成・配布

【事業5】

- ③ モデルルートの作成・情報発信

【事業6】

- ④ 車両及び事業サービスの導入促進

ソフト対策（助成等支援）

【事業7】 運転免許自主返納のための支援

・タクシー助成券等の配布

- ① 免許返納者への公共交通割引乗車券（タクシー券など）の購入助成制度の検討・導入

【事業7】

- ① 助成制度導入に向けた検討

ハード対策（新たな交通）

【事業8】 新たな公共交通（地域モビリティ）の導入に向けた検討

・新たな公共交通の導入に向けた検討

- ① 神奈川版ライドシェアの動向に注視し、国庫補助金等の活用を見据えた地域に馴染む新たな交通の導入検討
- ② 観光振興と連携した新たな移動手段の調査・検討

【事業8】

- ① 神奈川版ライドシェアの導入に向けた検討
- ② 観光振興などと連携した移動手段の確保